

■ワークショップが始まる前に、新庁舎建設予定敷地周辺をみんなで歩きました。



■新庁舎建設予定敷地周辺を歩いてみて感じた、この場所・エリアの印象を発表しました。

拠点

- ・様々な文化が融合する場所
- ・変わりゆく時が流れている場所

自然

- ・自然とまちを感じられる場所
- ・自然がいっぱいで景色がよい
- ・景色がきれいで静かである
- ・開聞岳を背景に支援と緑（周囲の山々）と青空、そして太陽のコントラストが素晴らしい

街並み

- ・平らな部分が多い
- ・緑園
- ・広くてゆったりとした感じ
- ・展望が出来る場所
- ・歩道がキレイ



【コラム】新庁舎建設予定敷地周辺の移り変わり

1948(昭和23)年



知覧飛行場の名残として、かつての敷地の形状の面影が残ります。まだ田畑は完全には復興していません。周辺には民家が見られます。

1992(平成4)年



顕娃川辺線の道路が整備され、道路に沿ってまちが拡大しています。公共施設等が建てられ、その周辺に住宅等ができています。

2020(令和2)年



現在は、工場やガソリンスタンド、大型店舗などが出現しています。南薩縦貫道が新しく整備され、新町地区の住宅新築が増えています。



新庁舎建設に向けて

南九州市の
これからを語り合おう！
ワークショップニュース

みな、みりよく！
南九州市

新庁舎建設をきっかけに南九州市全体や各地域がどうなるとよいか、どんな庁舎ができるかについて市民のみなさんと語り合うために、全3回のワークショップを開催しました。本ニュースは、10月31日(日)の第3回のワークショップのようすをお伝えします。

◆第3回ワークショップ開催概要◆

開催日：10月31日(日)
時 間：14:00～16:00
場 所：JA 南さつまふれあいセンター
2階大会議室

◆当日のプログラム◆

★ワークショップが始まる前に
新庁舎建設予定敷地周辺を
歩きながら、場所・エリアの説明

1. 開会、あいさつ
2. ワークショップについて
3. グループ分け
4. ワークショップ
市民(利用者)の目線で新庁舎に必要なモノやコトを出し合ひましょう
5. グループ発表・まとめ
6. 閉会



ワークショップ全3回のプログラム

【第1回】新庁舎建設をきっかけとした南九州市のまちづくり
について語り合おう

開催日：令和3年10月3日(日)14時～16時
会 場：知覧文化会館 2階大会議室

市全体の
まちづくり

- ①もっと「暮らしやすいまち」になるために、新庁舎建設をきっかけに、行政がどうなるとよいか、どう支えてくれるとよいか、どう関わるとよいか、などを出し合ひます
- ②どんな庁舎ができたならよいかについて話し合ひます

【第2回】顕娃、知覧、川辺のことを語り合おう

[顕娃] 開催日：令和3年10月16日(土)14時～16時
会 場：顕娃文化会館 2階大会議室
[知覧] 開催日：令和3年10月17日(日)10時～12時
会 場：知覧文化会館 2階
[川辺] 開催日：令和3年10月17日(日)14時～16時

各地域の
まちづくり

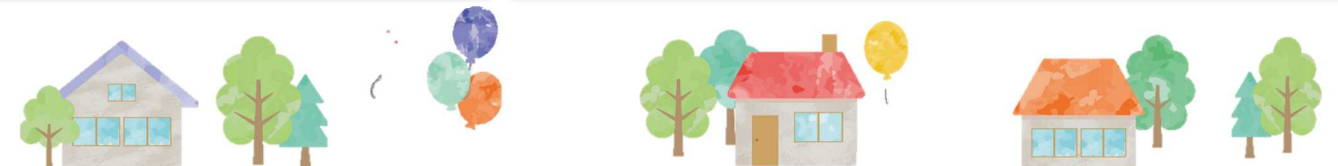
- ①知覧・顕娃・川辺地域が「どんなまち」かを出し合ひます
- ②まちを良くするための現庁舎・支所の空間・敷地の使い方のアイデアを出し合ひます

今回はココ！

【第3回】新庁舎周辺のまちづくりと必要な「モノ」「コト」について語り合おう

新庁舎周辺の
まちづくり

- ①新庁舎に必要な「モノ」や「コト」を出し合ひ、必要理由を話し合ひます
- ②出し合った意見をもとに、キャッチフレーズを話し合ひます



■新庁舎に必要な「モノ（機能、設備等）」や「コト（サービス、使い方等）」についてアイデアを出し合いました。出し合ったアイデアをもとに、各グループで新庁舎のキャッチフレーズを考えました。

ひとが集まる場

■屋上■

- ・サンセットバー
- ・映えスポット
- ・周囲を見渡せるような展望台
- ・特攻の史実を紹介する説明板の設置

- ・夕陽がきれい
- ・名所づくり
- ・歴史のPR

■多目的■

- ・チャレンジスペース
- ・いい意味で無駄な部屋
- ・ちょっとした演奏会が開けるスペース

- ・人材確保
- ・何かしたい
- ・音楽活動がしたい

■フリースペース■

- ・雑談室
- ・誰でも使えるスペース

- ・多世代で交流したい

■交通拠点■

- ・バスターミナル
- ・交通の拠点
- ・ひまわりバスの拠点
- ・公共交通のバス停新設
- ・空港のようなエントランス

- ・交通の利便性、アクセスがよい

■目的別スペース■

- ・映画館
- ・防音室
- ・インターネット配信
- ・PRブース
- ・複合施設
- ・足湯

- ・場所にゆとりがほしい
- ・働く場所ができる
- ・市民の活動をPR
- ・庁舎を入りやすい場所に

■飲食■

- ・みんなが使える食堂
- ・カフェ

- ・誰でも使える
- ・待合室代わり

■広場・公園■

- ・屋上に広場をつくる
- ・幅広い年代の方が利用できる広場
- ・ミニ公園
- ・市民の憩いの場
- ・イベント広場
- ・何にでも使える広場

- ・子ども、親子で行ける
- ・市民の憩いの場
- ・イベント時、災害時にも使える

- ・お金をかけない
- ・みんなが見に来る
- ・市役所で働きたくなる
- ・市民から親しまれる

■庁舎の姿■

- ・災害に強く安心安全の拠点となる庁舎
- ・観光地になるような庁舎
- ・ドラマで使われるような庁舎
- ・木や公園に囲まれた庁舎

■駐車場■

- ・朝市を開催する（土・日）

- ・いろんな人が集まる

みんなに優しい

キャッチフレーズ①

みんなの南九州市
「チャチャチャ」タウン

キャッチフレーズ②

稼ぐ庁舎

■照明■

- ・隅々まで明るい照明
- ・自然光、間接光を取り入れる
- ・天井が高い方がよい

- ・圧迫感がなく開放的

■トイレ■

- ・とにかくキレイなトイレ
- ・なにか面白いトイレ

- ・誰でも使える
- ・話題作り

■執務空間■

- ・フリーアドレス化
- ・職員のゆとりと笑顔

- ・将来の変化に対応
- ・あいさつが行き交う仕事場

■受付■

- ・受付のロボットを設置
- ・待たないで済む（でもITは嫌）
- ・バイリンガルに対応したガイド
- ・専門の案内人
- ・災害の際に住民が避難できるスペース
- ・給茶器より美味しい、特産のお茶が飲める

- ・みんなに優しい

■設備■

- ・エレベーター
- ・点字ブロックの設置
- ・バリアフリーに特化

- ・ユニバーサルデザイン

■庁舎周辺■

- ・市の木や花を植栽
- ・花壇の管理や清掃をボランティアで実施
- ・歩道に「清流溝」
- ・歩道に「休憩スペース」の設置

- ・個人や自治会活動の推進
- ・住民の生きがい

稼ぐ場

- ・移住のきっかけづくり
- ・人口増加につながるしかけ
- ・働く場所になる
- ・ここでしかできない体験ができる
- ・市の財政の補填にあてる

■屋外■

- ・シェアハウス
- ・セカンドハウス
- ・「チャチャチャ」タウンを作り複合施設の誘致

- ・文化的な建物にして宿泊施設を併設
- ・テントが張れる

- ・市民農園
（既存の施設・機械を活用、市の技術者が指導）

- ・土地を貸して稼ぐ
- ・堆肥を作る